

2月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和2年2月4日(火)

午後1時30分～

地域交流センター 第3会議室

出席委員 職務代理 市川祥介 委員 塚原明水
委員 小山正文 委員 宮下温子
出席職員 麻績小学校長 福田弘彦 麻績保育園長 白井孝夫
教育長 飯森 力 次長 白井太津男 主事 佐藤克哉

一 開会(白井教育次長)

只今から2月の麻績村教育委員会定例会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

二 教育長挨拶(飯森教育長)

三 報告(進行 白井教育次長)

白井次長：それでは、報告に移ります。教育長報告をお願いします。

1. 教育長報告

教育長：お願いいたします(以下、資料に沿って説明)

白井次長：それでは、只今の教育長報告についてご意見等ございましたらお願いいたします。

市川職務代理：教育支援委員会の判定結果について中学校長からもう一年早い段階での判定が必要という話がありました。ということになるとこの時期に5年生について始めていただかなくてはいけないんですが2月の予定に組み込まれているのか、組み込む予定なのかいずれにしても2月にしていただかないと無理かなと感じております。校長先生がおっしゃったように6年生の段階で判定をしていますが判定委員会は本当に判定しかしていませんので、通級学級が無いのに通級学級の対象であるという判定しか中学では受けられませんので、そういう対象の子に対してどう受け入れていくべきか教育という視点から考えるには中学校長の言うとおりでと思いますので、ぜひ2月の予定に組み込んでいただければと思います。

塚原委員：私たちは教育委員会から委嘱されてこの子は通級指導教室等で学習することが最適でないかということ判断して報告をしています。特に特別

養護学校などは年々早く判定を欲しいということでございますが、今までやってきた形がそのままの時期的なものであります。今のお話を伺いまして来年度は出来るだけ早く判断をしていくことが望ましいかなと思います。それを受けて学校または教育委員会の中で検討することがあれば検討していただきたいと思っております。4月から村で小中と一っしょに見ていくこととなりますので検討を早め早めにやっていくことが大事かと思っておりますので今のお話のような方向でやっていけたらいいなと思っております。

市川職務代理：今のお話のところまで前回の教育委員会で話が出来ているかと思っております。今確認をしたかったのはその件について具体化すれば2月中の計画に入りますかという質問でした。

塚原委員：今日この場でですか。

市川職務代理：この場では何時にするということでは無く、2月の予定に入れる予定がありますか。もし5年生を対象にして6年生になるときに中学の先生方も一緒に考えながら、6年生の中学に向けての中で、中学に通級学級が無い中でどう対応していくか、中学は次の年を迎えるにあたってどうするかということからすれば私は2月がポイントになるかと思っております。伺わせていただきました。またご検討いただければと思っております。

白井次長：その他によろしいでしょうか。それでは、保育園長報告に移ります。

2. 保育園長・学校長報告

1) 保育園長報告(白井園長先生)

白井園長：よろしく申し上げます(以下、資料に沿って説明)。

白井次長：それでは、保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、学校長報告をお願いします。

2) 学校長報告(福田校長先生)

福田校長：お願いいたします(資料に沿って説明)。

白井次長：只今の学校長報告につきまして、何かご意見等ございましたらお願いします。

市川職務代理：子ども議会は非常に良かったと思っております。6年生の学級通信について非常に良いことでこういうことを保護者に発信して貰った方が、次長が館報にこれからの教育方針についてとか話を載せていますがこういう形で保護者に啓蒙する意味で『今麻績村はこういうことに取り組んでいる』、『小規模だからますますやりやすいんだ』という辺りを宣伝していただ

けると保護者の視線も変わってくるかなという気がしてありがたいと思います。校長先生らしく丁寧な形で教育課程を編成していらっしゃる点に非常に敬意を表しますが、願わくばあと2点視点を広げていただければと思います。保小中一貫教育の視点から見たらどうなのか教頭先生と校長先生の頭の中にはあってみていると思いますが、中学のこれらの動きがある中で小学校のこの動きについてはどうだろうという所についてご指導いただければという点が一点です。もう一つはおみっこ元気くらぶは全員が参加してくれているわけではないですが、今では本当に素晴らしい実践を重ねていただいて学校教育では出来ない部分をやっつけています。学校教育とおみっこ元気くらぶがちょうど望ましい子どもを育てる上での補完関係にあると私は捉えています。そうした時におみっこ元気くらぶの活動と学校の教育活動の関連の視点から見たときにはどうなのか、その二つの視点から先生方の意識を広げていただいて、逆に保護者にも伝わっておみっこ元気くらぶには全員が参加しないと損しちゃうという感じにしてもらおうとありがたいと思います。

白井次長：その他にいかがでしょうか。

教育長：行事について特にプールは非常に大変だということは重々承知しています。その中でもスキー教室については私も悩んでいます。実際には今年も出来なかったのですが、またご相談しながら進めていきたいと思いますが出来ればスキー教室の時間2日取っているけれど30分や1時間延ばす中で充実した1日に出来ればということも感じています。村長も小学校の子どもたちがスキー場で一所懸命取り組んで麻績から出た子は皆スキーが出来るんだと自負して進んでいるところがありますので集中した上手い方法を作ればなど考えていますのでお願いいたします。この辺の所はいけなければおみっこ元気くらぶで拾っていく等していかないといけないと考えていますので、学校の思惑なども一緒に検討しながら出来ればと思いますのでよろしくお願いいたします。

白井次長：その他にいかがでしょうか。

小山委員：スキーやプールの体育系の時間はどうしても削らざるを得ないという色んな諸事情がありますけれども、一日を長くするなりおみっこ元気くらぶという中で出来るだけ地の利を生かした教育をお願いしたいと思います。

白井次長：その他にいかがでしょうか。

市川職務代理：小規模校だから1人1人の良さに目を向けて1人1人の良さを伸ばすということをあちこちで言われています。授業参観させていただくと本当にそうしてやっただけでいるんですが、それが漠然と見ても見える形、学校に子どもを出していない村民に見える形に1人1人の良さを伸ばすということをこういう形で学校で行われるということがもう少し見える形にならないかということが一点です。この賞状をたくさんもらっ

ているということを全村に発表してもいいと思います。人数比にすれば何百人いる中の数十枚より遥かに高いよということも言ってもいいかと思いますが、そういう1人1人の良さを伸ばすという点でこういう風にやってこういう成果が出ているということを学校サイドからも見える形で出していただけると非常にありがたいと思います。それと裏腹にどのクラスも学級集団作りがよく出来ています。ここ数年は麻績小学校の学級崩壊という姿を見ていません。本当にどのクラスもよく出来ているなと思います。それと同じように小学校では縦割りをかなり取り入れてくれていますので縦割り集団の集団作りといえますか縦割り集団や異年齢集団における集団作りの在り方についてどこかで手を付けていただくか示していただければと思います。縦割り集団にすると上級生は下級生の面倒を見て上級生としての意識が高まるだとか、下級生は上級生に対する憧れをもって進歩するということは当たり前のことです。それは当然だが異年齢集団をこういう風に組織することでさらにこういう事も期待できるというようなものを打ち出していただけるとありがたいと思います。今は異年齢集団が流行り始めていて、麻績小学校のように小さい学校だからやるのではなくて都市部の大規模校であえて挑戦しているところがあります。新しい課題として研究検討していただければと思いますのでよろしく願いいたします。

白井次長：その他によろしいでしょうか。それでは、協議事項に移ります。

四 協議事項（進行 飯森教育長）

1. 就学援助対象児童の認定について（新入学時）

教育長：就学援助対象児童の認定について（新入学時）について事務局より説明をお願いします。

白井次長：お願いいたします（以下、資料について説明）。

※ 認定結果につきましては個人情報になりますので、非公表とします。

教育長：このような認定結果になりましたが、よろしいですか。

全 員：（了承）

教育長：それでは、次に進みます。

2. 令和2年度教育委員会主要事業計画（案）について

教 育 長：令和 2 年度教育委員会主要事業計画（案）について事務局より説明をお願いします。

白井次長：よろしくをお願いします(資料に沿って説明)。

教 育 長：このことについて皆様の方からご意見等ありますでしょうか。

塚原委員：おみっこ元気くらぶの保護者の参加が来ない等の点について皆で話し合ったり研究しないといけないのかなと思います。スタッフが土日に来て麻績の子どもに一所懸命やっているのに親が関わってことがとても不思議です。学生が自分のバイトも勉強もしないで麻績の子どもの為に一所懸命やってくれているのに保護者も子どもも学生への感謝の気持ちをどうして上手く出せないのか、出していかなければいけないと思うけれども高学年の子どもはリーダーになりたくなくて来ないのか、こちら辺は子どもを育てたり地域の親を育てていくということでどこかで話し合いが出来たらと思います。

教 育 長：他に意見等ありますでしょうか。

市川職務代理：今の意見について賛成ですが、おみっこ元気くらぶの運営委員会のようなものがあつたかと思いますがそこで話は出ないのででしょうか。閉校式の後にはやっていたかと思いますが大体皆さん黙って聞いているだけなので最初から今のような問題点を投げかけておいて、こういう問題について話し合うので参加する人は必ず何かしら考えるようにという通知を出していただいて、教育委員会として検討することも大事ですが直接関わっている会で先に検討していただくことが大事かなと思います。あの会には議員の代表も出て来ていますが何もおっしゃらないという世界もありますので出てきた以上は何かしらご意見をいただく方が良いのではと思います。

教 育 長：このことについて事務局からお願いします。

白井次長：参加している保護者の方もいらっしゃる中でまんべんなくという部分に繋がっていかないのは広報周知や内容についてこちらの足りない部分もあるかと思いますが、今までやってきたものと比べて新しいもの外部講師を招いてということも担当の方で外部講師を招いたり、県内のスポーツクラブを招いたりということはやっているのです、PDCA をその時その時でやっていければ少し違ってくるのかなと思いますが、参加するのが低学年が中心になってくるのでこちらが伝えたいことが低学年だけだと伝わりにくいということもあるのでそういった部分も考えていきたいと思います。

教 育 長：このおみっこ元気くらぶは森の学園構想で進んでいますので、親が表に出てくることはありません。親は裏方で子どもたちを一所懸命支えるということで言い換えれば放課後児童クラブの延長線の部分もあります。だから日曜日はあまりやりません。午前中だけでやって、例えばお昼までかかったとしたら豚汁とか親は後ろで用意しましょうとか、子どもたちに作らせるために一緒にやりましょうとか、親のかかり合いを裏方か

らどういう風に進めるかということが一つこれからの問題だと考えています。そして子どもたちが今高学年はほとんど来ません。何故かというずっと同じことをやってきていて飽きているんです。人間なのでしょうがないですが、いろいろな講師を迎えて目先を変えていくということが大切だと考えています。これからプラン作り等しっかりやっていかなければいけないと思いますのでよろしくお願いいたします。信大の方々にも非常に感謝の気持ちということで閉校式の時にも子どもたちが学生に対して非常に親近感を持って一所懸命やってくれていますので良いのではないかと私は考えています。学生さんも信大の教育学部の人ほとんどですので、感謝の気持ちが自分たちのこれからの役に立つように一所懸命ずっとやってくれているので、それに対する感謝の気持ちをどういう風に持っていくかということが大切だと思いますので、この辺を踏まえながら再度検討していくことも大切かなと思いますのでよろしくお願いいたします。その他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは概ねこのような形で進んでいきたいと思いますが、内容的には社会教育委員会、公民館運営審議会の中で公民館事業なんかは変わってくることもあるかと思いますがよろしくお願いいたします。また文面についても表現方法について出来るだけ統一して事業計画、事業はこれからやっていく部分ですのでその辺を踏まえて直せるところは直していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。また3月の時に報告できるようにしていきたいと思います。

白井次長：お気づきの点がありましたらまたご連絡をお願いいたします。

教育長：よろしくお願いいたしますそれでは次に進みます。

五 その他

1) 各委員から

教育長：それでは、各委員からございましたらお願いいたします。

市川職務代理：小学校の2月の授業参観が学年別になっています。大体1年間の子どもの成長を毎年見せてくださるので私どもも非常に参考になるのですが、保護者だけではなくて地域の人にも広げていただけますでしょうか。

福田校長：もちろんですがそういったことの投げかけが不足しているかなと思いますので、今から間に合うようでしたら村内放送をお借りして対応したいと思います。

市川職務代理：地域全体といっても無理だとは思いますが少なくとも関係者として参観させていただくことはよろしいでしょうか。教育委員は全員顔を出したほうが良いと思います。

教育長：その他にいかがでしょうか。

塚原委員：村として行政の区割りとか分館の再編とか具体的に、10年後になるともっと人数が減っていくという事なのでそろそろ村として検討を始めていってくれた方がいいと思います。

教育長：また繋げるようにしますが行政として進めることは無いと思います。それぞれの地区の方向性がありますのでそれを一緒にするという事は行政としては難しいです。一つ例を挙げれば今度小東地区に定住住宅が建ちますが、小東地区としても入ってもらいたいけれどもその中の負担がだいぶ違うから個別にやって欲しいという声もあります。例えば宮本地区でそういったことがあれば宮本地区でまとまっていただいて地区として進言していただく、個人の考え方では難しいです。例えば宮本の人たちがまとまって梶浦地区と一緒にしてくれと言って梶浦地区が良いよと言ってくればいいけれどという所で再編は非常に難しいです。地区割にこだわっている所がありますのでそれを解消するのは非常に難しいかなと思います。ただ行政区でも分館でも少なくなっている所がありますので考えていかなければいけないとは思っています。

市川職務代理：農協の組織が別の形で絡まってきています。今の話のように自分たちの地区がきちんとまとまっていて、相手の地区もきちんとまとまっていると上手く流れます。教育長のおっしゃるようにその地域がまずまとまる事がポイントかなと思います。

教育長：その他にいかがでしょうか。

小山委員：これから年度末に向かっていろいろ学校行事もあると思いますが、今年はインフルエンザがあまり流行っていませんが気を抜かずよろしくお願いしたいと思います。

教育長：その他にいかがでしょうか。次に進みます。

2) 事務局から

教育長：私の方から高校再編に関わる部分でお願いいたします(資料に沿って説明)。それでは、次回の日程に進みます。

定例教育委員会の日程 3月4日(水) 午前9時30分～

教育長：全体を通して、皆さんの方からありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは、閉会に移ります。

五 閉会(飯森教育長)

長時間にわたりありがとうございました。以上で2月の定例麻績村教育委員会を閉会いたします。

※網掛けになっている部分は個人情報になりますので一般公開する時には削除して公開いたしません。

上記会議録に署名する

教育長

職務代理

委員

委員

委員

会議録調整者